



いのちと平和と子どもたち
川口ぞうれっしゃ合唱団

川口ぞうHP <http://kawaguchizou.sakura.ne.jp>
メール kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp
TEL 048-268-9256(荒木) 261-1714(栗山) 266-1242(柴山)

2023.9.10

みなさん、お久しぶりです。お元気でしたか？台風が去っても残暑はまだ居座っていますが、朝夕は少し過ごしやすくなりましたね。ネモフィラで有名な『ひたち海浜公園みはらしの丘』は今、一面黄緑色のコキアに覆われています。今月の終わり頃から少しずつ紅葉し始めて、10月の中頃には写真の様な紅に染まるでしょう。秋のおでかけにいかがですか？

DVDをお渡ししました

お渡ししたDVDに収録されているのは、第一部と第二部の本番舞台の映像のみです。第一部については、ゲストの『ちんどんバンド☆ざくろ』さんのご厚意で、舞台を見ることができなかった私たちのために、特別に収録させていただくことができました。ただ、演奏の部分の音はよく録れているのですが、集音の関係でMCの声の一部がやや聞き取りにくくなっています。お手元の再生機器の不具合ではありませんので、あらかじめお伝えしておきます。

第二部、みんなとてもいい顔で歌っていますよ。楽しみにご覧下さいね。

ちょっといい話

9月4日の東京新聞夕刊に、戦争中の『猛獣処分』に最後まで抵抗して、殺処分を行わなかった動物園があったこと、その『甲府市立動物園(当時)』の園長さんの勇気が絵本になったという記事が載っていました。

絵本のタイトルは、『甲府の動物園物語』。当時の園長小林承吉さんは、「おりが壊れるような空襲があれば猛獣も死ぬ」と主張、処分を防いだそうです。ぞうの歌同様に、足りない餌を求めて町中を奔走しましたが、餓死する動物も増えて、最後は空襲で園が焼失し、園長が主張していたとおり、猛獣たちも命を落としました。結果はどうであれ、この時代、どこの動物園でも動物の命を守ろうと必死にたたかったことでしょう。

作者の三井ヤスシさんは、「各地で痛ましい戦争が続いている。動物の命を大切にしたい園長の話を通じて、平和を願う優しい気持ちを持ってほしい」と話しています。『ぞうれっしゃがやってきた』と同じ思いが込められた作品なんですね。



札幌市立円山動物園で先月19日に生まれたアジアゾウの赤ちゃんは、すくすくと育って、7日に女の子だということがわかりました。生後20日で、もう体重は170kgもあるんですって。

ここでもまたあおうね！

ここ&のタイトルを、また「ここでもまた&あおうね」に変えました。まだ、なんにもお約束できる状況ではありませんが、これが私たちの正直な気持ちです。皆さんからも同じ思いをたくさんいただきました。ありがとうございます。

まずは、お楽しみ企画として、ざくろさんを招いて『音楽のおもちゃ箱』をお届けできたらいいなと考えています。来年のいつ頃になるかは、まだわかりませんが、予定がはっきりしましたら、ここ&の号外とメールでお知らせします。どうか気長に待っていてくださいね。

では、それまでお元気で！ ここにすればあえるね♪